

ピュアフラワー新聞

2015年2月号

— Pure Flower News —

Vol.10

＊新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
みなさまにとって良き一年になりますようにの思いを込めて、これからもよりよいお花をお届けしてまいります。
本年もピュアフラワーを何卒よろしくお願いたします！

＊いろいろな気持ちを伝えるバレンタイン

2月といえばバレンタイン！
バレンタインは一般的には女性が男性にチョコレートを贈り愛を伝える日…ですが、最近は普段お世話になっている人に渡す「世話チョコ」や、友達に渡す「友チョコ」、男性から女性に渡す「逆チョコ」などなど…バリエーションがかなり広がり、今や若い女性以外も楽しめるイベントになってきています。
チョコレートだけではなく、お花をはじめとした様々なギフトが登場する時期でもあります。お中元・お歳暮などより気軽に気持ちを伝えられる機会なので、友達やお世話になっている人に贈りあって、みんなでワイワイ楽しむのも素敵ですね♪



＊愛の尊さを伝えようとした司祭を奉る日

バレンタインデーの起源は、ローマ帝国時代といわれています。
時の皇帝は「故郷に愛する人を残してくると、兵士の士気が下がる」といい、兵士の結婚を禁じました。
キリスト教の司祭・バレンタインは、それに反対し、こっそり若い兵士たちを結婚させていました。
このことが皇帝に知れ渡り、怒った皇帝により最後には処刑されてしまいます。
その日こそが2月14日…つまり元々バレンタインデーとは、バレンタイン司祭の命日だったのです。
愛の大切さを説いたバレンタイン司祭の行動は、多くの人々を感動させ、恋人の守護神として奉られるようになりました。
こうして死を悼む日が、いつしか愛の告白をする日となっていったのがはじまりだと伝えられています。
ちなみにこの2月14日は、処刑された日であると同時に、家庭と結婚を司る女神・ユノの祝日でもあったそうです。

現在の日本のバレンタインの「チョコを贈る」という習慣は、実は日本のチョコレートメーカーにより起こったもので、1950年代から始まったことだとか。
なので外国のバレンタインでは贈るものも違えば、男性から・女性からという贈る側も違ったり、さまざまな形があります。
しかし形は違えど、家族や恋人など、大切な人に気持ちを伝える日であるというのは、世界中で同じです。
愛を伝えることが禁じられた時代とは違い、自由に自分の思いを伝えることができる今日。
たまには大切な人に気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか？

＊今月のワンポイントレッスン

せっかく贈り物をするなら、思いを込めてラッピングに挑戦してみましょ！
簡単にできるおしゃれなラッピングなら、オススメはワックスペーパーと麻ひもです。今なら100円ショップなどでも簡単に手に入ります。

茶色いワックスペーパーで軽く巻き、十字に麻ひもを結ぶだけでシックでナチュラルな可愛いラッピングの完成！間に紙のレースなどをはさむだけでぐんと可愛らしくなります。

ワックスペーパーは食品OKのものもありますので、バレンタインにはもってこい。お花を包むのにもピッタリですよ。

